

意見書・決議の審議結果

※ 可決された意見書は、国等への関係機関に送付しました。

○：賛成 ×：反対 △：退席 ー：欠席(体調不良) 議：議長(原則、採決には加わらず) 副：副議長(議長が体調不良のため、副議長が議長の職務を代行)

自	み	子	共	公	お	参	ネ	緑	街													
河野麻美	吹春やすたか	五十嵐京子	遠藤百合子	岸田正義	沖浦あつし	鈴木成夫	村山ひでき	古畑俊男	渡辺大三	高木章成	片山かおる	たゆ久貴	水上洋志	森戸よう子	渡辺ふき子	小林正樹	宮下誠	水谷たかこ	斎藤康夫	安田けいこ	坂井えつ子	清水がく

件名	要旨(提案議員が作成)	自	み	子	共	公	お	参	ネ	緑	街	議決結果
多様な人材の地方議会への参画促進を求める意見書	多様化する民意の集約と反映のため、安心して議員に立候補し、議員活動を続けられるよう、①主権者教育の推進、②会社員が立候補しやすい環境整備と厚生年金加入、③出産・育児や介護等との両立支援やハラメントの防止等、環境整備と支援を国に求める。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
東京都に対して心身障害者医療費助成制度の拡充を求める意見書	障がい者の医療費は命に直結する問題であり、早急な拡充が必要である。東京都に対し、心身障害者医療費助成制度について、障がいの程度にかかわらず対象範囲を拡大すること、また、少なくとも、知的障がい者の医療費助成の対象を中・軽度に拡大することを求める。	△	△	△	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
原発新增設費用を国民から徴収する制度を導入しないことを求める意見書	巨額の建設費を含む原発のコストを、稼働して発電する前から電気料金に上乗せして国民負担とする新たな制度を導入すると、家庭や企業が払う電気代が増え日本経済の停滞は更に深刻化する。原発新規建設のための新たな資金徴収制度を導入しないことを求める。	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
103万円の壁と呼ばれる課税限度額の見直しに関する意見書	「103万円の壁」の見直しに当たっては、十分に地方財政の財源の補填を行うとともに、その財源確保に当たっては新たな国民負担増にならないこと、また、社会保険料の在り方を是正することを強く求める。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
マイナンバー制度見直しに関する意見書	国や地方自治体で使用するサーバーの開発・運用については国内の企業に委託すること、厳格に発行・管理を行い、個人情報漏洩やなりすましの防止を徹底すること、紐付けられている自分の情報については全ての履歴を確認できる仕組みを構築することを求める。	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	原案可決(議長裁決)
刑事訴訟法の再審規定の改正を求める意見書	刑事訴訟法には、冤罪被害者の救済を目的とした再審制度の規定があるが、再審請求手続の審理に関する規定がほとんどないため、適正さが担保されず公平性が損なわれている。冤罪は深刻な人権侵害であり、決して許されない。再審手続の整備等を求める。	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
市独自の検証結果が出るまで、優先整備2路線の事業化に向けた手続を行わないことを求める意見書	建設局には、市独自の検証が終わり総合的判断が定まるまで、事業化に向けた手続を行わないことを求める。都市整備局では新たな「都市計画道路の整備方針」を検討しているが、これまでに議会が可決した計画見直し等を求めた11件の意見書の尊重を求める。	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
企業・団体献金の廃止を求める意見書	企業・団体献金の廃止は、今や多くの野党の要求となっている。世論調査でも「禁止するべきだ」が67%と「禁止の必要はない」の26%を大きく上回った。企業・団体献金は賄賂性が指摘されており、政治のゆがみを正すため企業・団体献金の禁止を求める。	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
新庁舎等建設について、市民要望に応え、抜本的な建築コスト削減を図るべく、抜本的な見直しを求める決議	市民要望に背向け、現行案にかくも法外な建築費を投入することは、小金井市100年の大計を誤る暴挙である。長年の小金井市の課題である新庁舎等の建設については、見直し案の指摘も参考に抜本的な見直しを求める。	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	原案可決

※可否同数の場合、議長が可否を決定します。

【党派略称】 自：自由民主党・信頼の小金井 参：参政党小金井 み：みらいのこがねい 子：子どもの権利を守る会 共：日本共産党小金井市議団 公：小金井市議会公明党 お：小金井をおもしろくする会
ネ：生活者ネットワーク 緑：緑・つながる小金井 街：街の仲間たち

名勝小金井(サクラ) 100周年写真コンテストで議長賞が決定しました

小金井桜部門 議長賞
大森真人さん「静かな時」
まちの桜部門 議長賞
後藤五月さん「弁天橋の桜絶景」



名勝小金井(サクラ)名勝指定100周年記念式典(12月8日)
場所：小金井 宮地楽器ホール(市民交流センター)

選挙管理委員・選挙管理委員補充員を選挙

地方自治法の規定により、選挙管理委員及び選挙管理委員補充員については市議会で選挙することとなっています。
選挙管理委員4人及び同補充員の選挙を12月19日に行いました。
選挙管理委員は池田祥子氏、久保治雄氏、齋藤裕人氏、篠原熙氏が当選しました。
また、同補充員については、第1順位として井塚忍男氏、第2順位として宮川俊男氏、第3順位として伊藤謙一郎氏、第4順位として眞部一義氏が当選しました。

多様な人材の地方議会への参画促進を求める意見書

反対討論(要旨)

水上演志(日本共産党)
議員活動の環境を整えるための取組は大切である。しかし、「厚生年金へ地方議会議員が加入できる法整備を図ること」については賛同できない。厚生年金への加入は、自治体が年金保険料の半分を負担することになる。国民誰もが、安心して暮らせる年金制度を確立するべきである。国民的議論の中で検討されるべきであり、単に議員の年金のみの議論で済ませるものではない。「国民には給付カット、地方議員は

お手盛り」との批判は避け難い。よって反対する。

反対討論(要旨)

坂井えつ子(緑・つながる)
断固反対する。物価高の今日、税金の使い方が適切か監視する責任がある地方議会議員自らの提案は、理解困難だ。近年の小金井市議選では立候補者数が定数を上回り続けているにも関わらず、議員のなり手不足が深刻化している点も疑問だ。医療・介護、物流業界なども人手不足の中、地方議員だけに特別に対策を講じるには根拠不足だ。地方議員の厚生年金加入で、全国で要する年間約160億円は、原油価格高騰や物価高騰の対策に充てるべきだ。

引き続き審査する案件

議会運営委員会

1月21日(火)午後2時

▶議会改革に関する諸問題の調査 ▶①次期定例会(臨時会を含む)の会期及び会議日割等、議会運営に関する調査 ②議会の会議規則、委員会条例等に関する調査 ③議会運営に関する議長の諮問事項について

厚生文教委員会

▶障害児短期入所施設の新設と既設施設の支援拡大を求める陳情書 ▶障害福祉計画及び介護保険・高齢者保健福祉総合事業計画について ▶保育政策の課題について

建設環境委員会

▶東小金井駅北口の駐輪環境(通勤通学/お買い物等)の向上を求める陳情書 ▶駅前広場、公園、広場、新庁舎外構などへの冷却ミスト(クールスポット)の設置を求める陳情書 ▶循環型社会の形成及び温室効果ガス削減に関する調査 ▶地域公共交通に関する調査

総務企画委員会

▶男女平等基本条例の理念を尊重し、小金井市の事業や後援を適切に行うことを求める陳情書 ▶(仮称)小金井さくらの日の制定を求める陳情書 ▶消防団員の確保を図るため処遇改善を求める陳情書 ▶ふるさと納税返礼品から「特定外来生物被害防止基本方針」に収録のある生物種の排除を求める陳情書 ▶市の顧問弁護士の人数、報酬に関する陳情書 ▶小金井市商工会補助金交付要綱に関する陳情書 ▶指定管理者及び開発道路の疑義解明を求める陳情書 ▶ふるさと納税返礼品指定体制の改善を求める陳情書

庁舎等建設及び公共施設マネジメント推進調査特別委員会

▶現設計での建築確認申請にストップをかけた市議の内、現設計で建てようとしている方々の氏名を明らかにすることを求める陳情書 ▶小金井市の新庁舎及び(仮称)新福祉会館の建設に関する見直し案の設計意図の伝達等の機会を求める陳情書 ▶小金井市の新庁舎及び(仮称)新福祉会館の建設に関する住民投票条例について市長が行った反対の意見等に関する陳情書 ▶小金井市の新庁舎及び(仮称)

新福祉会館の建設に関する現行案の構造的差別を無視した計画の推進の再考を求める陳情書 ▶小金井市の新庁舎及び(仮称)新福祉会館の建設に関する現行案と見直し案に関する考えの根拠を求める陳情書 ▶小金井市の新庁舎及び(仮称)新福祉会館の建設に関する住民投票条例について議員が行った反対討論等に関する陳情書(同一表題で内容が異なるものが他8件) ▶小金井市の新庁舎及び(仮称)新福祉会館の建設に関する財政の規律性の保持について考えを問う陳情書 ▶小金井市の新庁舎及び(仮称)新福祉会館の建設に関して現行案と見直し案に対する現在の議員の考え方の確認を求める陳情書 ▶小金井市の新庁舎及び(仮称)新福祉会館の建設に関する住民投票条例について議員が行ったご発言等に関する陳情書 ▶庁舎等建設及び公共施設マネジメントの推進に係る諸問題の調査

行財政改革推進調査特別委員会

▶行財政改革の推進に係る諸問題の調査



小金井市はGPN会員として印刷のグリーン購入に取り組んでいます。

この議会報は再生紙を使用しています。※ごみ減量と資源の再利用にご協力ください。この印刷物は、植物性インキ(石油系剤を利用するかわりに植物油を溶剤としたインキ)を使用しています。